

学生企画型実践型海外派遣プログラム

募集要項

本プログラムはグローバル理工人育成コースの一環として実施されます。既定のプログラムではなく、学生自身で、現地実働日数8日以上のプログラム企画及び準備等を全て行い、高度な実践的能力を習得することを期待します。書類及び面接の後、仮採択されたグループは、自身で事前準備を進め、その進捗状況から滞りなくプログラムが遂行できると判断されれば、本採択とします。本プログラムへの参加者を下記の通り募集致します。

*渡航時期は、2020年4月以降を想定しています

*具体例については、過去の報告書参照のこと

2018年度 <http://www.ghrd.titech.ac.jp/world/designed2019/>

【プログラムの内容】

1. 学生が自身で企画・実施する事柄

- ・調査計画に基づく情報収集、事前調査等
- ・訪問先の選定、依頼、交渉、アポイント取得
(研究機関・教育機関(学校、大学研究室、サークル等)、政府機関、公共機関/施設、コミュニティ等)
- ・現地の活動：訪問インタビュー、インターンシップ、ボランティア、各種プロジェクト企画及び調査等、自由に設定可。異なる分野のメンバーで、幅広く捉えた1つの大きなテーマに取り組んでもよい。
- ・スケジュール確定及び管理：派遣時期及び期間(後述の参照)、活動地及び宿泊地、毎日のスケジュール管理
- ・旅行手段の確保：フライト、宿舎、現地移動手段などの手配・予約

2. グローバル人材育成推進支援室のかかわり

- ・教員・事務員の付き添いは行わない。学生のみでの現地派遣となる。
- ・事前準備進捗を定期的に把握し、現地活動状況の報告を受ける。
- ・安全性、教育的観点からの確認を行い、事前準備、渡航中、報告書作成等について、必要に応じ助言する。
- ・訪問先大学や教員との正式な取り決めが必要な場合等は、支援室が支援を行うことがある。

3. 準備期間中のグループ活動

3~5名で1グループを構成し、派遣前の準備活動として以下のような活動を行い、グローバル人材育成推進支援室に準備進捗状況を報告し、必要に応じて担当教員の指導を受けること。

- ・事前準備と現地派遣を含めた全体スケジュールを作成・管理
- ・アポイントの取得のために現地と連絡等
- ・事前の調査や情報収集等

4. 帰国後のグループ活動

事前調査から含め、企画した内容に即した報告書を作成する。グローバル人材育成推進支援室に進捗状況を報告し、必要に応じて担当教員の指導を受けること。

5. 単位付与

「グローバル理工人研修」の単位が付与される。単位数、科目名の番号部分は、派遣期間によって決定されるが、現地実働日数8日以上に対して2単位が付与される。長期にわたる場合は、別途相談のこと。なお、判定は合否とする。

【募集要項】

1. 応募資格

- (1) グローバル理工人育成コースに所属し、国際意識醸成プログラム2単位を取得済の本学正規の学士課程3年次以上(修士課程含む)とする。
 - (2) 現地で英語または渡航先国の言語でコミュニケーションする能力を有していること。
 - (3) グローバル理工人育成コースに所属し以下の通りコース修了に向けた活動を行っている学生を優先する。
 - ①グローバル理工人育成コースの4つの教育プログラムの科目履修単位取得数が修了要件に近い。
 - ②ポートフォリオに必要事項(グローバル理工人育成コースの志望動機、所属時ループリックの入力(2年次は必須)を記入している。
- *グローバル理工人育成コースの所属・修了等の詳細については、以下のURLをご覧ください。
<http://www.ghrd.titech.ac.jp/>
- (4) 他の派遣プログラムとの併願も可。

2. 募集人数

- (1) 1グループ(3~5名)を募集
- (2) 3~5名のグループとして応募する。
- (2) 男女混合の場合には、それぞれ2名以上の構成とする(健康問題が生じた場合などに備え)。
- (3) 海外渡航の危機管理等については、事前に自分で保護者に十分説明し、了解を得ておくこと。

3. 派遣時期及び期間

- (1) 仮採択決定後から準備を開始し、準備進捗状況から判断して本採択となれば、2020年度9月までに派遣完了する。
- (2) 派遣時期：授業及び試験等と重複しないことを事前に確認の上、決定する。
- (3) 派遣期間：現地での実働を最短で8日以上とする。(付与される単位数は、8日以上で2単位。)

4. 費用

訪問先によって異なるが、航空代金、宿泊費、現地での諸経費(交通費、宿泊費、食費、通信手段、その他活動経費)等が必要となる。

大学の指定する海外旅行保険に加入すること。

5. 奨学金支援(詳細は4ページ)

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構(JASSO)の奨学金(日本人学生)、東京工業大学基金(留学生)対象である。以下の基準を満たした学生には6~10万円が支給される場合がある。(別途書類の提出が必要。必要書類については、書類説明オリエンテーションで説明する。)なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

6. 応募方法

- (1) 添付の申請書、企画書(企画書は和文で可)を、併せて、グローバル人材育成推進支援室宛に提出。
- (2) 申請書は、メンバー各自が作成する。
- (3) 企画書は、メンバー全員で1つ作成する。企画の中での各自の担当箇所も明記すること。
- (4) 企画書に記載すべき内容(様式・分量自由、和文可)
 - ・訪問国とその選定理由
 - ・企画する活動の目的、内容
 - ・訪問予定先とその概要(各メンバーの分担内容を明記)、連絡手段、主な訪問目的
 - ・現地での仮スケジュール(訪問予定先及び受入者、移動経路、滞在地など)
 - ・交通手段・宿泊先手配の方法、安全面への配慮(通信手段含む)
 - ・各メンバーの役割分担(リーダー、その他など)
 - ・事前準備の項目と準備のスケジュール(A4用紙2ページ程度)

7. 選考方法

- (1) 書類審査及び面接審査による。

(2) 書類審査及び面接で仮採択したのち、以下のような事前準備の進捗状況から、滞りなく企画が遂行できると判断できれば、本採択とする。

- ・国内で可能な事前調査（必要に応じてインタビュー等），入手可能な情報の取得・整理状況
- ・訪問先選定及びコンタクトの状況
- ・渡航、滞在、移動等に関する下調べの状況

8. 応募締切 2019年12月2日（月）

- (1) 応募に際しては、申請書類に指導教員，またはアカデミックアドバイザーの承認を必ず得ること。
- (2) 留学生の参加については、渡航先のビザ取得期間等を確認の上，応募の可否を自身で判断すること。

9. 面接予定日 2019年12月中旬

10. 事前・事後学習

本プログラム参加者は、単位付与の一環として、下記の事前・事後学習への参加が義務付けられます。

2019年12月11日（水）書類説明オリエンテーション，危機管理オリエンテーション

担当教員と相談の上，事前準備の報告を行う

2020年10月頃：海外派遣プログラム報告会にて報告（日時・会場は別途通知）

【奨学金支援】

本プログラムは、独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）の奨学金（日本人学生）、東京工業大学基金（留学生）対象である。以下の基準を満たした学生には6～10万円が支給される場合がある。（別途書類の提出が必要。必要書類については、書類説明オリエンテーションで説明する。）なお、学内規定により国費留学生には奨学金の支給はない。

奨学金支給基準：

1. 日本国籍を有する者または日本への永住権のある者（独立行政法人日本学生支援機構（JASSO）国費以外の留学生（東京工業大学基金）
2. 前年度の成績評価係数が2.30以上（JASSO規定の計算式に基づく）であること➡学業成績書で確認する。
下記の表により「成績評価ポイント」に換算し、計算式に当てはめて算出（小数点第3位を四捨五入）

成績評価	100～80点	79～70点	69～60点	59点以下
成績評価ポイント	3	2	1	0

（計算式）

（「評価ポイント3の単位数」×3）＋（「評価ポイント2の単位数」×2）＋（「評価ポイント1の単位数」×1）＋（「評価ポイント0の単位数」×0）／総登録単位数

3. 前年度の成績評価係数が2.0以上～2.3未満（JASSO規定の計算式に基づく）の場合、自己推薦書を提出することで、支給金額は減額されるものの、支給が認められる場合がある。
4. 経済的理由により、自費のみでの派遣プログラムへの参加が困難な者（原則として家計基準に合致する者）➡申立書を根拠とする。
5. 派遣プログラム参加にあたり、他団体から奨学金を受ける場合、他団体等からの奨学金の支給月額が本制度による支給金額を超えない者

（注）

1. 学士課程3年生及び4年生、また修士課程の学生の参加に対し、「グローバル理工人研修」の単位が付与される。卒業予定の参加者については、以下の条件を満たす必要がある。
 - ① 当該海外派遣プログラムによる得られる単位の有無にかかわらず、卒業できる見込みがある。
 - ② 卒業あるいは大学院進学認定等に必要手続きに支障を及ぼさない。
3. 上記にかかわらず、「グローバル理工人研修」等の科目ではなく、所属学科・系の科目による単位付与が行われる場合がある。
4. 本プログラム参加にあたっては上記1～4に記載されているいずれかの科目を必ず履修すること。
5. 帰国後、本学において単位付与出来ない場合には、奨学金を返納することになる。事前事後学習を含めたプログラム全体に主体的に参加すること。
6. 安全上の理由によりプログラムが渡航延期、中止される場合があり、その際キャンセル料については原則自己負担となる。

【問合せ・申請書提出先】

留学情報館（大岡山南6号館4階405号室）（担当：村上，鹿取）

メールアドレス：S6-9

電話：03-5734-3520 / e-mail: ghrd.sien@jim.titech.ac.jp